

# ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 〒104-0033 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル Tel.(03)3551-6218  
ロシア東欧経済研究所 <http://www.rotobo.or.jp> [年間購読料・送料共前納 18,000円]

1999年(平成11年)2月25日 No. 1117

## 目次

ウクライナの冶金産業	芳地 隆之 1
ウクライナ指導部人事一覧	9
統計速報 1998年のCIS主要経済指標	11
CIS諸国通貨の最新為替レート	11

## ウクライナの冶金産業

### はじめに

ウクライナはロシアと並ぶ世界有数の鉄鋼輸出国である。とくに東部のドンバスは国内最大の鉱物資源の埋蔵量を有しており、帝政ロシアの時代より同地方ではドネツ炭田とクリヴォイログの鉄鉱石を活用して鉄鋼業が興り、ドニエプル河の中流域に突出した一大重工業地帯が形成されたのであった。

現在、ウクライナの銑鉄生産は世界第5位、またマグネシウムの埋蔵量は同第2位を誇っており、冶金コンプレクス(Ukrainian mining and smelting complex=MSC)は鉱工業生産の約4分の1を占める国内の主要産業である。MSCは365の企業および組織(従事する人数は55万4,700人)から構成されており、うち主なものは、製鉄所(14)、鋼管プラント(7)、金属製品プラント(10)、コークス・プラント(16)、耐火物プラント(17)、採鉱企業(26)、フェロアロイ・プラント(3)、非鉄金属プラント(20)、二次製品生産企業(35)である。

しかし、従来、同分野についての情報は少なく、本号では当会が入手した資料『Ukrainian Market Review』(1998.No.1)に掲載された「ウクライナの冶金産業」をもとに同産業の現状を紹介したい。